

広報



関市イメージキャラクター  
「関\*はもみん」

ときめき きらめき いきいきを伝える

# Seiki

せき

2016

2

No.1660

特集 関市のパワースポット★めぐり…P2~5

## TOPICS

- ・平成 27 年分市県民税の申告、  
所得税の確定申告…P6~8
- ・議会だより…P12~15
- ・お知らせ…P24~30
- ・文化会館／図書館…P31
- ・しあわせヘルスだより…P32,33



武芸八幡宮参道「大杉」前にて（新成人の皆さん）

# 関市の

# パワースポット



# めぐり

Power Spot

名もなき池（モネの池）、  
関善光寺宝冠大日如来像  
（五郎丸ポーズ似の仏像）が、  
観光スポットとして脚光を  
浴びた平成27年。  
しかし、関市にはまだまだ  
注目を集めそうな、神秘的な  
パワースポットがあるんです。  
平成28年の新春を迎え、  
これらを巡って運氣アップ!?を  
図ってみませんか。



照会先 秘書広報課 ☎23-6806

# しあわせの気の森の池「下之保」 池が告げる運と想いの強さ

道の駅「平成」の裏手にある山の中腹に、その池は存在します。「しあわせの気の森」と名付けられたこの場所は、風水自然科学的に天の気と地の気が融合し合う、全国的に見ても大変珍しい場所だとか。確かに、道の駅にはいろいろな方面から毎日多くの人が集い、さまざまな「気」が交わるスポットとも言えます。

この池が教えてくれるのは、運の強さ、願いへの想いの強さ。案内してくれた地元波多野さんいわく、特に恋愛成就の運勢がよくわかるそうです。実際にこの場所では出会って結ばれた方もいらっしゃるとのこと。想いの強い人が浮かべたコインは本当に早く沈む・・・また、何回試しても、その時の気持ち次第で変わるそうです。皆さんも一度運氣を試してみたいかがでしょうか。



道の駅で手に入れた専用の運勢吉凶用紙に、梵字入りの八角形コインをのせて、願いを込めながら水面に浮かべる。

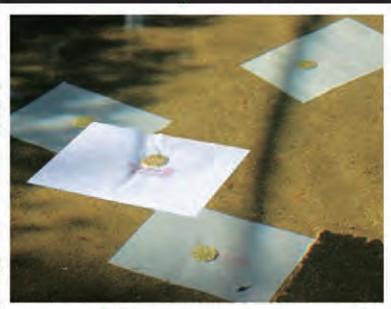
Power Spot



「みなさん!ぜひ来てくださいね!」  
(道の駅「平成」駅長のペッパー)



「浮かべる用紙とコインは、道の駅売店内に置いてありますよ。」



願いに対する想いの強さが、浮かべた用紙とコインの沈む早さに現れるとか。2分以内に沈めば大吉、8分以内で吉。なかなか沈まない場合は・・・精進せよというお告げ。



道の駅の裏、駐車場の一角に池へと登る入口が。ここから少し登っていくと正面に池が見えてくる。



森の池へは、道の駅(エコピア平成事務棟)横の道路から裏手にまわる。



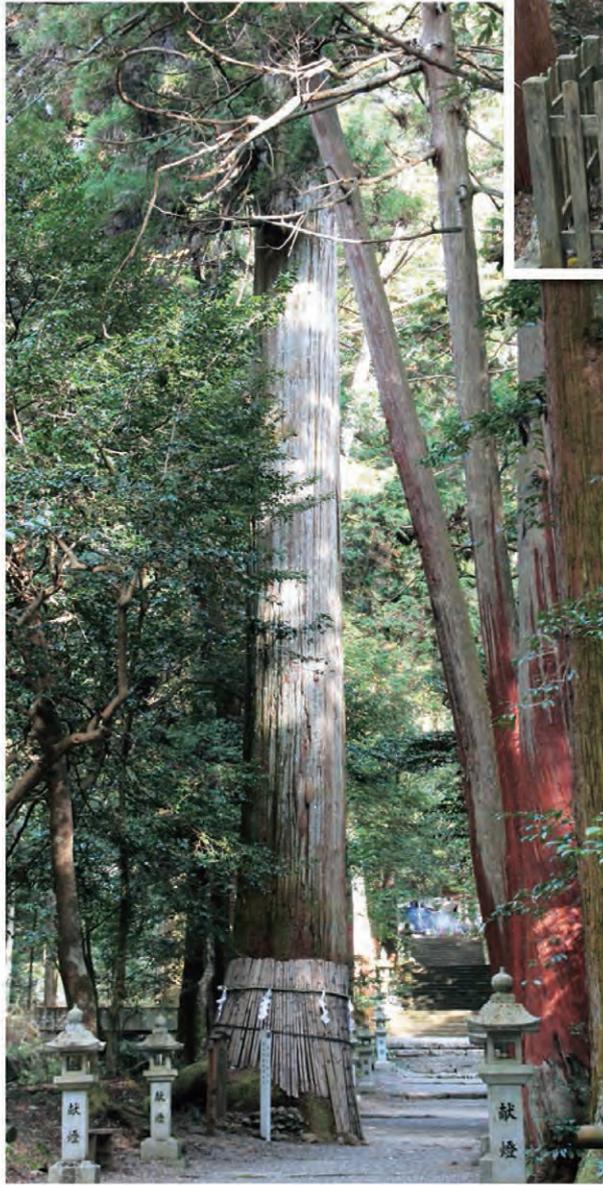
(右) 鳥居に掲げられた「八幡宮」の額。よく見ると「幡」の字の頭に「ノ」がない。米と田の字から成り、五穀豊穡を願うことだとか。  
 (左) 武芸八幡宮が「県社」であることの証。第26代岐阜県知事 坂 千秋による奉納額。



(上) 花馬まつりで知られる御旅所前の広場から第2鳥居をくぐって進んでいく。  
 (中) しばらく山沿いを進むと太鼓橋と随神門が見え、ここから雰囲気が変わる。  
 (左) 随神門から続く参道。静寂につつまれた木立の中を歩くと、思わず背筋が伸びる。  
 (下) 参道を奥まで進み、階段を登ると拝殿に到着。



▶織田信長が建てたと伝えられる「下馬標」。ここからは、いかなる人も歩いていくことを命じている。



参道中ほどにそびえる、樹齢約千年の神木「大杉」。その大きさに圧倒される。

毎年4月に開催される「花馬まつり」で有名な武芸八幡宮。その勇壮な祭りが繰り広げられるのは、実は広大な境内のまだ中間にあたる場所です。本当の武芸八幡宮の素晴らしさは第2鳥居をくぐってから・・・  
 古くは奈良時代、養老元年（717年）に創建され、1300年もの歴史を誇るだけあって、随神門や鐘楼など残る建造物は歴史的价值のあるものばかり。そして、拝殿まで続く長い参道にたえずむと、改めてこの八幡宮の大きさが感じられ、身が引き締まる思いがします。  
 また、戦国時代、岐阜城に拠点を構えた織田信長が、鬼門の方角に位置するこの武芸八幡宮を信仰し安堵状を与えるなど、興味深いエピソードも備えています。

# 武芸八幡宮 「武芸川町八幡」

信長も信仰を寄せた神域

Power Spot



案内していただいた元総代 恩田正明さん(左)と総代長 木村清さん(右)



「モノの池」として有名な「名もなき池」で注目を浴びる板取地域。ここには自然が生み出した神秘的な空間があります。

太い1本の幹の上から、何本もの新たな幹がまっすぐ伸びている様子は、自然の不思議な力を感じます。樹齢400〜500年とされる元の天然木を、何回も伐採を繰り返す内に、現在の形になっていったと考えられています。

用材は冬に伐採しますが、板取は雪が多く、地面より上の箇所を伐採します。そして、残った株の部分から新芽が生えますが、株杉は萌芽性が強く、枝が幹になっていったと言われています。

いずれにせよ、巨大株杉が集団で自生している場所は、全国的に見ても珍しく、自然が創り出したこの森に足を踏み入れれば、何か元気が湧いてくる感じがします。



森を管理する板取シルバークラウドセンターの長屋 雄二さん。「こんなに多くの株杉が群生している場所は珍しいです。」

見る者を圧倒する株杉の存在感・・・自然の生命力を感じるこの場所は、まさしくパワースポットにふさわしい。



株杉の森は、21世紀の森公園内にある蕪山登山道入り口から少し登った所に広がる。山道となるため、運動靴など歩きやすい靴がおススメ。

株杉の森の中を縫うように遊歩道が整備されているため、圧倒的な株杉を間近で見ることができる。



## 株杉の森 [板取]

自然が生み出す神秘的な空間

Power Spot